



# 九条の会

九条の会奈良県ネットワーク運営委員会  
発行責任者 佐川愛子  
✉ nara9jyonokai@gmail.com  
☎ 090-9885-9756  
<http://blog.goo.ne.jp/9naranet>  
9号 2017年8月1日発行

## 九条の会三郷「川口真由美公演会」開催 2017年6月19日

今回のイベントは従来と異なり、歌とトークの楽しい企画で、多くの住民に沖縄の現状を知ってほしいとの思いから「九条の会」三郷として大々的に取り組みました。チラシ8000枚、ポスター70枚作成し、チラシはニュース会員以外に重点地区全戸配布をいたしました。

公演の準備は12月からはじめ(日程の決定には予め諸団体の予定を聞き、重ならない日を選びました)、三郷町の後援依頼や新聞社(朝日・毎日・奈良・産経)への後援依頼、さらに川口真由美さんが障害者施設の事に携わっていたことから三郷町の「ちひろば園」にも呼びかけました。参加の呼びかけは、事務局員や世話人が中心となり、団体や多くの方々に面談や電話などでおこない、三郷町町長はじめ、教育委員会や役場の職員へのチケット販売、当地選出の宮本・梶川県議員さらに三郷町、王寺、平群町の町会議員(王寺、平群は一部ですが)、三郷中学の先生方、近隣9条の会、「愛の園」幼稚園など主義主張を超えた幅広いものでした。

一方で、川口さんとの打ち合わせ、川口さんのコンサートへの参加や会場での事前テストなどの準備も並行しました。川口さんは「どうせやるなら皆様に満足いただける内容としたい」「子供や障害者のかたがたにも見せてあげたい」旨強く語られ、「多くの方々に沖縄を知っていただきたい」「若い人に広げたい」と意欲を示されていました。

参加協力券は200枚以上、当日支払者約40名となりいつもの行事と比べ若い人たちも多く見られました。(180席は満席)

当日の運営にも配慮。司会者には郡山高校の女子学生にお願いし、主催者側の挨拶を極力省き、あくまで、川口さんの歌とトークや沖縄の映像中心の内容となりました。終了直前には川口さんの呼びかけで、飛び入りの手話や沖縄の踊りも出て盛り上がりました。

終了後、川口さんのサイン会、署名活動や交流会をおこないました。参加者の多くの感想は「感動した」「素晴らしかった」「涙が出た」「沖縄の現状がわかった」「歌とトークと映像で魂を揺さぶられた」など絶賛するもので好評でした。「川口真由美さんが期待されていた「多くの人に沖縄の現状を知って欲しい」という願いは通じたようです。素晴らしい公演となりました。



## 各地域・分野の講演・イベント

### 桜井「平和を語るつどい」

道徳の教科化は「教育勅語」と同じ視点、憲法と相容れない

6月3日(土)午後、桜井市内で 2017年桜井「平和を語るつどい」を開きました。

市外からも、たくさん来ていただき、約40名と盛況でした。つどいのテーマは、「教育勅語って何?」→道徳教科書選定前に知っておきたいこと→としました。講演は、西村 徹先生(奈良県教職員組合書記長)に「教育勅語」騒動と新学習指導要領(道徳教科化)のテーマでお話いただきました。西村先生からは、新学習指導要領を決めた人たちは、教育勅語が大好きな人たちだから、同じ視点はむしろ当たり前。「臣民」ではないが、「国のために、大人が決めた資質や能力を備えた人材」になるための道徳の教科化が進められようとしているとお話でした。道徳教科書では子どもは育たない。一人ひとりの子どもの尊厳を大事にしながら、子どもを信じ続けていきたいとまとめられました。

参加者からは、義務と権利がセットで扱われている道徳教科書への疑問や子どもの意見表明権が大切だとする意見、徳目を押しつけようとしている道徳教科書の問題指摘がありました。「子どもと共に成長しようと学校現場でこれからも頑張っていく」、「個人個人が大切にされる社会を願う」、「共謀罪廃案まで頑張る」、「憲法の素晴らしさを私なりに訴えたい」などの感想も寄せられました。

毎月の9の日宣伝とともに、6月16日からの教科書展示会での意見記述、8月7日の教科書採択の教育委員会会議の傍聴に取り組んでいきます。

## 奈良広陵九条の会 「発足 10 周年のつどい」 通信記事

6月7日

事務局 下村

6月4日(日)「発足 10 周年のつどい・石川康宏さん講演会」を開催しました(広陵町グリーンパレス)。広陵町外からもたくさん参加され 180 人の大盛況となりました。

最初に、主催者を代表して事務局の下村が挨拶と活動経過報告を行い、「安保法制廃止と立憲主義の回復を求める市民連合・奈良」事務局長の池本昌弘さんは、参院選の野党共闘の教訓を活かし、次の総選挙では必ず勝利したいとの決意を述べました。「NARA ママの会・SOUTH」代表の福田美保さんは、戦争する道に反対するのは当然だが、食品添加物や農薬が新たに多数認可され、出生率が大幅に低下している一方、貧困など様々な困難で毎年約 20 万人が中絶で亡くなっている。こんな安倍政権は変えなければならぬと訴えました。

その後、神戸女学院大学教授の石川康宏さんが「**安倍首相が目指す日本・時代錯誤の戦前帰帰**」のタイトルで講演。

「**子どもの貧困率と日本の教育費が世界でもダントツに高く**利子付き奨学金で卒業時に 500 万円～700 万円もの借金を抱える学生も多く奨学金での自己破産も起きている。働く人の賃金は下がり続け、非正規雇用が 4 割を超え、そのうち約 8 割は月収 20 万円以下である。一方で、年収 100 億円を超える超富裕層も増えている。下がり続ける大企業の法人税など大企業・富裕層に有利な税制。駐留米兵一人当たりの日本の負担は 1293 万円で普通のサラリーマンの年収の 2 倍近い」と今の実態を述べました。

安倍首相や自民党が作りたい日本「**天皇中心の国、自助自立と家族責任の国、国防軍を持った膨張主義の国、そのために国民の自由や人権を制限する国**」である。自民党の改憲草案や安倍首相の加憲案には「**緊急事態条項(第 98 条)**」があり、首相の非常事態宣言で、閣議決定のみで法律が制定される。

戦後の日本国憲法は最も進歩した基本的人権すべて盛り込んだ**世界的に誇れる先駆的な憲法**である。憲法九条によって、日清戦争以来 50 年の長い戦争の苦勞・惨禍から抜け出せると大歓迎し定着したが、自由権や社会権を含む日本国憲法全体の理解と定着には至っていない。これをしっかり定着させることが安倍改憲をストップする上で重要。

**市民と野党の共闘**の歴史と市民による新しい政治に関し、基地問題をめぐるオール沖縄の画期的勝利、安保法制(戦争法)阻止の戦いを経て市民運動が質的に変化し「**安倍政権打倒**」が共通目標になっている

衆参両院で自民、公明、維新など改憲派が 2/3 以上の議席を持ち、共謀罪の創設や憲法九条の改定を強行しようしている現在の状況は「**とうげ**」としての「**危機**」的状況である。医者が「今夜が峠です」というあの峠。登り坂はしんどいけど「**峠**」を越えれば状況が一変する。「**今は峠**」を合言葉に力を合わせて頑張りましょうと訴えられました。

九条の会奈良県ネットワークのホームページを開設いたしました。

[www.nara9jyonet.com](http://www.nara9jyonet.com)

奈良広陵九条の会は、7月19日(水)午前10時半から11時

まで エコールマミの2階南北通路で恒例の19の日宣伝を行いました。熱い中11人が参加しました。マイク宣伝では、この7月7日、国連会議で採択された核兵器禁止条約の採択を歓迎し、その画期的な内容と意義を紹介しました。また、残念なことに日本政府は、唯一の戦争被爆国でありながら アメリカに言われるままにこの会議をボイコットし、採択された核兵器禁止条約にも背を向けていることを厳しく批判し、今後核兵器禁止・廃絶の世論を高め政府の態度を改めさせよう、そのためにも今日取り組んでいる「**核兵器廃絶を求めるヒバクシャ国際署名**」へのご協力をと訴えました。その他、国民の内心を監視し、処罰する共謀罪法の廃止、安倍首相の「ご意向」で行政がゆがめられたと疑われている森友疑惑、加計疑惑の徹底究明を訴え、2020年までに憲法九条に自衛隊の存在を書き込んだ新憲法を施行するという安倍改憲を絶対に許さないよう力を合わせて市民と野党の共闘を発展させ、安倍政権を退陣に追い込みましようと呼びかけました。お買い物客、通行人の反応は最近では最もいい感じで、30分で準備した152枚のビラをすべて配布し、ヒバクシャ国際署名が21筆集まりました。



### お知らせ

8月5日(土) 10:00 am~11:30 am

「**被爆ピアノコンサート**」

於：三郷町文化センター・文化ホール

8月20日(日) 13:30~16:00

「**島本慈子 講演会**」

於：奈良市右京ふれあい会館